

ジンリムカ 文化財だより

平取町立二風谷アイヌ文化博物館・沙流川歴史館

2021. 10. 22

No. 12



旧マンロー邸及び敷地内の様子 邸宅前の並木道とその周辺が美しい庭園として整備されている

重要文化的景観 —重要な構成要素の紹介 12—

旧マンロー邸（二風谷区域：アイヌの伝統を伝える山野と集落の景観）

二風谷を流れるオサツ沢河口付近の右岸上に、N. G. マンロー（1863-1942）の住宅兼診療所があります。1933年に建てられてから1942年までの9年間、地域住民への医療奉仕活動や交流の場として用いられたほか、二風谷を主としたアイヌ文化研究の拠点施設でもありました。

邸宅周辺の6,000坪を超える敷地は、かつてマンロー夫妻が手掛けた果樹園でした。地域の生活向上を志し余市からリンゴ、新潟からナシ、山梨からブドウなどを取り寄せて栽培し、ゆくゆくはワインづくりも可能ではないかと考えていたようです。しかし、数年にわたって行われた果物づくりも、当時としては気候が合わず結果は芳しくなかったようです。そのほかにも実りの良い果物として、イチゴやグズベリーが植えられました。チヨ夫人らによる手製のジャムがクッキーとともに配られ、コタンの子どもたちのおやつとして喜ばれました。

邸宅を含む広大な土地は1966年以降、北海道大学が管理し現在に至っています。かつての果樹園の姿は今の敷地にありませんが、並木道と建物、庭園の雰囲気、マンローが住民と一緒に夢見た地域づくりの面影を感じることができます。

（長田佳宏）



N. G. マンロー



平取町立二風谷アイヌ文化博物館第27回特別展 英国聖公会宣教師 ジョン・バチラーの足あと ー伝道活動とアイヌ文化研究ー

11/28(日)
まで開催

現在開催中の第27回特別展のみどころは、キリスト教の宣教師ジョン・バチラーとその関係者が使用した資料です。^{げんとう き} 幻灯機 ^{にほん せいこうかいほっかいどうきょうく} (日本聖公会北海道教区)、オルガンと木製の十字架(平取聖公会)など、当展示のためにお借りした貴重な資料を展示します。また、北海道南西部に残されたバチラーの足跡を映像資料でご紹介します。博物館施設や教会関係者による、各地域の特色が表われた解説をぜひお楽しみください。また、11月にはアイヌ史(教育史)の専門家を講師にお迎えし、特別展講座を開催します。お誘いあわせの上ぜひお越しください。(廣岡絵美)

JOHN BATCHELOR



英国聖公会宣教師
ジョン・バチラーの
足あと
ー伝道活動とアイヌ文化研究ー

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 第27回特別展

▲ 晩年のバチラー大司教 / 写真提供：北海道大平博物館・博物館

▲ 昭和18(1933)年頃の平取聖公会平取教会 / 所蔵：平取聖公会・由：大塚三子氏

▲ 現在の平取聖公会礼拝堂の様子(2021年撮影) / 所蔵：平取聖公会・由：大塚三子氏

2021
10.1 (金) **11.28** (日)

9:00 - 16:30 (休館日：11月23日(月))

大人400円、小・中学生150円(町民無料)

平取町立二風谷アイヌ文化博物館
伝承サロンので開催

平取町立二風谷アイヌ文化博物館
〒055-0101 北海道沙流郡平取町二風谷55 【営業時間】9:00～16:30 【TEL】01457-2-2892

<http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/biratori/> ① 平取町立二風谷アイヌ文化博物館

▲特別展チラシ



▲特別展会場の様子



▲画面手前はバチラーの妻ルイザが使用したオルガン(右側：平取聖公会所蔵、左側：個人所蔵)、画面奥は映像資料

特別展講座「近代アイヌ教育史をつくった人たち ー平取ゆかりの人々の足跡からたどるー

講師：北海道博物館学芸副館長 小川正人氏

会場：沙流川歴史館レクチャーホール

日時：11月13日(土) 13:30～15:30

定員：先着210名(申込必須、参加無料)

申込先：平取町立二風谷アイヌ文化博物館

☎01457-2-2892

* オンライン受講締切 11/5、申込先 ranko@town.biratori.lg.jp



▲講師の小川正人氏



▲日本聖公会北海道教区所蔵の幻灯機 平取や有珠など、道内各地の伝道集会で聖書物語を紹介するために用いられた

沙流川歴史館特別展【開催中】

「びらとりの学校 うつりゆく学び舎」

沙流川歴史館では、11月28日（日）まで沙流川歴史館エントランスホールにて特別展『びらとりの学校 うつりゆく学び舎』を開催しています。

平取にはかつて、小学校 16 校、中学校 11 校、高校 3 校、30 校もの学校がありました。そのうち 22 校が閉校となり、現在は小学校 5 校、中学校 2 校、高校 1 校となっています。

特別展では、1 校 1 校の歴史やうつり変わりを昔の写真を中心に展示しています。学校の上空をドローンで撮影した映像も見ごたえがあります。子供のころの懐かしい記憶がよみがえる事と思います。どうぞご来館ください。（佐々木知代）



■ 沙流川歴史館講座 ■

「学校教育の移り変わりと 人を育てる平取の風土」

日 時 2021 年 10 月 23 日（土）午後 3 時～4 時 30 分

会 場 沙流川歴史館レクチャーホール / オンライン

会場での受講の場合【A】＝講師の先生が会場で講義します。

オンラインの場合【B】＝自宅や職場などでスマホ／タブレット／PCを使って受講します。

受講方法 【A】・【B】上記の2つの方法ともに、事前申込が必要

※B→リモート会議システム(Zoom)を利用したの受講。参加希望者には、講座がはじまる前に講座開始待機のお知らせのeメールをお届けします。

参加対象 どなたでも参加できます。平取町外の方も受講できます。
無料です。

■ 講 師 坂本年光（さかもと としみつ）氏

石狩市立紅南小学校エキスパートサポーター／元平取中学校教諭

坂本先生は、昭和42年に二風谷小学校を卒業し、平成8年から6年間平取中学校の教員として勤務されました。子供時代に過ごした平取のこと、平取中学校の教員時代のこと、昭和・平成・令和と3時代を経験した教師生活の中での、学校教育の移り変わりなどをお話して頂きます。



博物館事業紹介 ～インターン等～

■ 平取高校 1 年生によるインターン（職業体験）



8月3日と4日に二風谷アイヌ文化博物館と沙流川歴史館で2日間インターンを行いました。それぞれ1日ずつインターンを行い、博物館・歴史館の仕事を体験しながらしっかり学んでももらいました。今回は1人でしたが、積極的に行動などして数人分の働きをしてくれました。初日は緊張をしていましたが、2日目は活き活きとたくさんの事を学んで居ました。貴重な体験だったとは思いますが、これから役に立ててほしいです。

■ 子ども学芸員体験

8月3日に二風谷アイヌ文化博物館で町内の小学4年生から6年生を対象にした企画を行いました。今回初めての試みだったのですが、5人の小学生たちが参加をし、3時間アイヌ文化や博物館の勉強をしました。普段立ち入ることが出来ない収蔵庫などにも入り、どんな物が収蔵されているかをじっくり見たりもしました。今回の体験で新たにアイヌ文化等に興味をもってくれたら嬉しいなと思います。



■ 博物館実習



8月16日から22日の1週間の日程で北海道大学から実習生が3人来ました。博物館の仕事や学芸員としての働き方などを1週間にわたり勉強しました。文化的景観などの地域特有のことなども実習期間で学び、平取町という町も学んでももらいました。3人とも積極的に作業を行い、実習という時間を有意義に使い、しっかりと学んでいました。

コロナ禍ではありましたが、二風谷アイヌ文化博物館の事業を数回行うことが出来ました。ソーシャルディスタンスや消毒など沢山気を使うことが多いですが、沢山の方にアイヌ文化を知っていただきたいので、これからも職員一同頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

（新町征也）

アイヌ語を覚えてみよう ⑫

面白いアイヌ語表現紹介

イランカラプテ！（こんにちは！）

今回は、『萱野茂のアイヌ語辞典』（三省堂）より、面白いなあと思うアイヌ語表現をいくつか紹介します。

チセ カ タ パシクル ハウコロ コロ レウシ ルスイ ヤント エク ペ ネ
家の屋根で鳥が声を出すと、泊まりたい客が来るものだ

レクチカヤイセアン コロ イクアン エアシカイ
喉が鳴ると酒が飲めるものだ



クンネ カッコク ハウ アシ コロ ポロワッカ アン ペ ネ
夜にカッコウ鳥が声を出すと洪水の兆し

サク ポン ナイ アサム タ トボンラ アン コロ ポロワッカ アン ペ ネ
夏に小沢の底に水苔が異常に発生すると洪水がある



ホッノ イヨーハイ パロホ ウサッ オマー ペコロ エパラコヤコヤ
まあまあ、あきれたものだ、口に燗が入ったかのように早口でまくしたてる

ウォロコンブ シコパヤラ

水にうるけた昆布のように、さっとばかり血の気が引いてしまった



ソンノ ネア ウェンクル イヨシキ コロ オラーノ ヤムス コラチ アエアナサプ
本当にあの悪い奴は酔っ払ったらクリのいがと同じで手に負えない

いかがでしたか。これら以外にも、アイヌ民族の生活の知恵がたくさん紹介されており、読み物としても非常に面白い辞典です。皆さんも是非一度、お手に取ってみてください。

ヤクン パクノ ネ。スイ ウヌカラン ロー！

（それではここまでです。またお会いしましょう！）

（生涯学習課 関根健司）

アイヌ政策推進交付金事業 ①

アイヌ政策推進交付金とは、アイヌ文化の振興や福祉施策に加え、地域振興、産業振興、観光振興等を含めた市町村のアイヌ施策を支援する交付金制度です。

博物館ではアイヌ政策推進交付金事業の一環として、「二風谷アイヌ文化博物館所蔵資料の写真撮影業務」を取り進めています。

博物館で展示、保管している資料には、重要有形民俗文化財（国指定）が含まれることから、博物館外へ持ち出すことができません。撮影は全て博物館の中で行っています。



民具資料撮影準備（展示室）



撮影風景（視聴覚室）

高解像度で撮影されたデジタルデータは次年度以降の台帳・図録用・ホームページ用の基礎データとなります。

民具の豊富さ、豊かさの理解を深め、アイヌ文化に関心をもつすべての方に向けて発信できるよう取り組んでいます。



キサリ
（耳長おぼけ）



クワリ
（仕掛け弓）



タマサイ（首飾り）

令和元年から始まったこの事業は、3年目を迎える今年度で博物館分の撮影を終了します。次年度は萱野茂二風谷アイヌ資料館での撮影を予定しています。（阿部孝之）



ムックリ（口琴）



メノコマキリ（女用小刀）



イユタニ（杵）



メノコイタ（まな板）



マトンシ（鉢巻き）



テクンペ（手甲）



イカヨピコロ
（祭事用矢筒）



エムシ・エムシアツ
（刀・刀紐）



チェプケリ
（鮭の皮を使った靴）



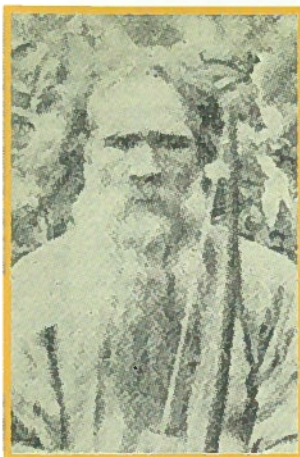
クヨイ
（鹿の膀胱で作った水袋）

開拓財産 ～むかしのどうぐ～

【アイヌの人々と近代開拓】

テーマ1：学校(2)

北海道開拓はさまざまな地域住民の関わりにより進められてきました。当コーナーでは前号から、アイヌ民族による近代平取の学校づくりの貢献について、開拓財産展示施設のテーマに沿って紹介しています。



平村ペンリウク
(1833-1903)

明治 12(1879) 年に英国人のキリスト教宣教師、ジョン・バチラーが初めて平取を訪れました。アイヌ民族への伝道を志していたバチラーは、平取コタンの首長である平村ペンリウク（駒吉）^{こまきち}からアイヌ語を教わりました。バチラーが懸命に地域の言葉を学ぶ姿勢はアイヌの人々の心を打ち、教育の必要を痛感させたと言われています。

翌年の明治 13(1880) 年に北海道で 2 番目、平取では初めてとなるアイヌ児童の教育を目的とした佐瑠太小学校平取分校^{さるふと}が設立されました。

ペンリウクは学校の誘致に率先して協力し、児童の就学を奨励しました。

また、義経神社の下にあった小屋を校舎として提供しましたが、その場所は当時のコタンの中心でもありました。バチラーとの出会いは、ペンリウクの学校教育への思いに影響を及ぼしたと考えられます。（廣岡絵美）

◆文中の人名は敬称略



（写真1）戦前に建てられた平取小学校の4代目校舎。昭和47(1972)年頃。国道237号線沿いにあった。現在は特別養護老人ホーム平取かつら園が所在する（この写真は開拓財産展示施設にてご覧いただけます）。

表1【平取小学校 校舎の変遷】*

使用期間	所在地	建物の構造
明治13(1880)年 ～明治34(1901)年	現在の義経神社の下 (駐車場付近)	茅葺き
明治34(1901)年 ～大正5(1916)年	現在の平取消防署 (本町37-1)	木造平屋建て
大正5(1916)年 ～昭和18(1943)年	現在の平取かつら園 (本町17-1)	木造平屋建て
昭和18(1943)年 ～昭和52(1977)年	現在の平取かつら園 (本町17-1)	木造2階建て (写真1)
昭和52(1977)年 ～現在	本町105-6	鉄筋コンクリート造

表2【平取小学校 名称の変遷】*

期 間	名 称
明治13(1880)年 ～大正8(1919)年	簡易科佐瑠太小学校平取分校 **
大正8(1919)年 ～昭和16(1941)年	平取尋常高等小学校
昭和16(1941)年 ～昭和22(1947)年	平取国民学校
昭和22(1947)年 ～現在	平取小学校

*表1, 2は『飛躍 創立百年記念誌』(1978)を元に作成した
**明治28(1895)年には修業年限3カ年の尋常小学校となるが前述の記念誌で「改称」と明記された名称のみを記載した

参考：平取町 1952『平取町開村五十年史』、仁多見巖訳編 1965『ジョン・バチラーの手紙』、平取町 1974『平取町史』、平取小学校創立百年記念協賛会 1978『飛躍 創立百年記念誌』

開拓財産展示施設 見学のご案内

【開館日時】 *変更の場合あり

5～11月の月・水・金曜日(祝日休館) 9:00～12:00
上記以外の日程のご見学についてはお問合せ下さい。

【ご予約・お問合せ】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 ☎01457-2-2892
または 沙流川歴史館 ☎01457-2-4085

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

■特別展

『英国聖公会宣教師ジョン・バチラーの
足あと－伝道活動とアイヌ文化研究－』
期間：10月1日（金）～11月28日（日）
場所：平取町立二風谷アイヌ文化博物館

■二風谷アイヌ文化博物館 特別展関連講座

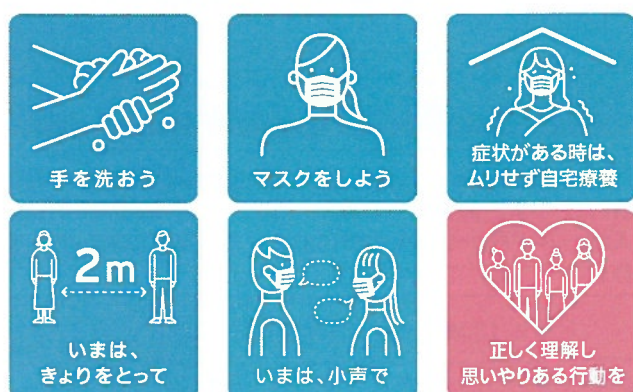
期日：11月13日（土）13:30～15:30
講師：小川正人氏

（北海道博物館学芸副館長）

場所：沙流川歴史館レクチャーホール

■休館日のお知らせ

冬期間（12月15日～1月15日）の1ヶ月間
は、館内整備のため休館します。



沙流川歴史館

■特別展

『びらとりの学校 うつりゆく学び舎』
期間：10月1日（金）～11月28日（日）
場所：沙流川歴史館エントランスホール
※特別展期間中は臨時開館しています
休館日：毎週月曜日

■沙流川歴史館講座 ※要事前申込

期日：10月23日（土）15:00～16:30
場所：沙流川歴史館レクチャーホール
講師：坂本年光氏（元平取中学校教諭）

お知らせ

「沙流川歴史館」は、改修工事で休館中
のため（特別展開催期間は臨時開館）、歴
史館での「ダムカード」の配布は休止し
ております。ご注意ください。

二風谷ダム及び平取ダムカードの配布
につきましては、二風谷ダム管理所まで
お問い合わせ下さい。

【お問い合わせ】

二風谷ダム管理所 TEL (01457) 2 - 4262

2021年10月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2021年11月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

2021年12月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

2022年1月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

博物館・歴史館 特別展

博物館・歴史館 休館日

歴史館 休館日

シシムカ文化財だより No. 12 2021年10月22日発行 編集・発行／平取町教育委員会文化財課

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

北海道沙流郡平取町字二風谷 55

TEL 01457-2-2892

FAX 01457-2-2828

E-mail nah@town.biratori.lg.jp

HP <http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/nibutani/>

アイヌ文化博物館
Facebook 更新中!



沙流川歴史館

北海道沙流郡平取町字二風谷 227-2

TEL 01457-2-4085

FAX 01457-2-4086

E-mail sar.muse@town.biratori.lg.jp

沙流川歴史館
Instagram 更新中!

